

アイロン ジャパン 1月号増刊 2008年1月1日発行第4巻第15号 890円
デイズド & コンフューズド ジャパン

CONFUSED

CONFUSED
JAPAN

JANUARY / FEBRUARY #64
890 YEN

ARTWORK BY BERNHARD WILLHELM
& CARSTEN FOCK

SPECIAL FEATURE

ハーモニー・コリン

マイケル・ビット

ピーター・グリーナウエイ

パトリック・ウルフ

田名網敬一
ヤンファミリー
宇川直宏
タカノ綾
佐藤玲
花代
エンライトメント
えきそにも
東恩納裕一
針谷建二郎
松井えり菜
田中功起
黒田潔
田中偉一郎
村瀬恭子 ほか

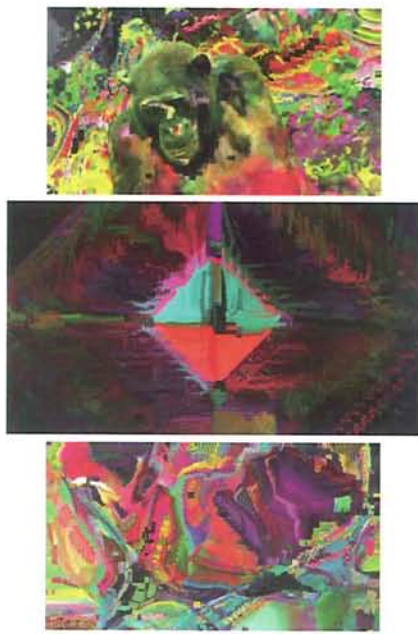
WITH BERNHARD
WILLHELM &
CARSTEN FOCK

THE ARTIST BOOK SPECIAL

クリエイターたちをインスパイアする
ヴィジュアルブック 107

ファッションデザイナーによるアートブックプロジェクト
ベルンハルト・ウィルヘルム / リック オウエンス / ピーター イエンセン / ミントデザインズ

FOCK



Video "Escape Spirit VideoTime", exhibited at gallery.sora June 2007



'74年、シカゴ生まれ。NYを拠点に活動。数多くのギャラリーや美術館での展覧会に参加し、グローバルに活躍する。今年6月にはGallery.Soraにて個展「Damage Control」を開催した。既存の映像と自分で撮影した映像とを組み合わせて制作した作品は、物語を紡ぎながら、ピクセルの絵具としての可能性を追求する。www.gallerysora.com/jp/exhibitions/2007_june

ERINA MATSUI

松井えり菜

044



ロバート・サブダ「オズの魔法使い」
(大日本絵画/'05年)

ジュディ・ガーランド主演の映画「オズの魔法使い」が好きで、オズの魔法使いの本は以前から探していたが、なかなか良い本に出会えなかった。そんな時に見つけたのがこの本。読むための本としてはかなり大きい、誌上美術館のような画集とまでいえる本だと思う。予想を裏切る仕掛けには、いつかこの素敵な驚きを自分の絵にも取り入れることができないか、と考えさせられる。やや高価なので、自分へのクリスマスプレゼントと言いついて聞かせて買った(笑)。

Woodstock Handmade Houses



041

Robert Haney / David Ballantine / Jonathan Elliott 「Woodstock Handmade Houses」 ('94年)

この本には僕をインスパイアする何かがある。人がクレイジーになるために、山支度をし、NYから山奥にある小屋へと出掛けて行くというアイデアが僕は大好き。少しロマンティックすぎるかもね。でも、それは僕にも関係していることだと思う。変なものを作るのって、変な家に住んでいれば簡単なことなんだ。



042

Off/On 「Dearraindrop」

(Deitch Projects / '05年)

未来(それともヴァージニアビーチ)のフリーク(錯乱者)が、麻薬について語っている。そして、アニメーションが時間を曲げる。

TAKESHI MURATA

ムラタタケシ



043

Kerry Broucher / Jeremy Strick / Ari Wiseman / Judith Zilczer 「Visual Music: Synaesthesia in Art and Music Since 1900」 (Thames & Hudson / '05年)

この本は、LAのMOCAとHirshhornで行なわれていた美術展のカタログ。僕は、LAのMOCAでこの本を購入したが、その時初めて美術館の中で映像作品を見た気がした。すごく刺激的で、新しいハイパーアクティブな映像作品を観るのはとても感動的だった。各部屋に展示された映像のすべてがグループしている。だから、前に進んだり、後ろに下がったりすると、自分がどこにいてもかまわなくっていい。この本には、僕の好きな映画やビデオ作品がたくさん登場する。実験的で抽象的なコンピュータアニメーション、液体ライト、ゆがんだサイケデリックビデオ、そして、Jordan Belson。そこにはすべてが描っているのだ。



松井えり菜「woods」2007 R160号(1125x1425mm) キーホルダーに連射し撮影
Photo: Kei MIYAJIMA Courtesy of YAMAMOTO GENDAI



PHOTOGRAPHY: HOCHIZUKI

'84年岡山生まれ。美術予備校の文化祭で大賞を受賞した作品は、同校の広告として美術雑誌に掲載され、同作品で「GEISAI#6」の金賞を受賞。それをきっかけに、カルティエ現代美術館でのグループ展「私はそれを夢見る」に参加し、堂々の国際デビューを果たす。'07年に初個展となる「わたしの小宇宙(コスモ)」を山本現代にて開催。同年11月にバルセロナのミロ財団で個展を行うなど精力的に活動中。www.erinamatsui.com



045

「ビーンズ・プラス01
——かわいいおもちゃと雑貨の本」

(イースト・プレス/'07年)

大好きな初代リカちゃんがこんなにフィーチャーされている雑誌が出るなんて……!! 昔のリカちゃんは、人形も洋服もすごく凝っていて、見る度に発見がある。リカちゃんに付いているチラシやブックレットは、ファッション雑誌のようなクオリティ。今見てもセンスの良さが光り輝く。今ではなかなかお目に掛かれないリカちゃんブックレットが読める貴重な1冊。



046

ロバート・サブダ/マシュー・ラインハート「恐竜時代」
(大日本絵画/'06年)

1ページに3個は仕掛けが潜んでいる、盛りだくさんな1冊。本を動かすことによって立体が浮か上がるだけでなく動いたり、じっくり読めば読むほど新たな発見がある。まさにインタラクティブアートな1冊。子供の頃に読んでいたヴィジュアルブックとは違い、恐竜のスケールも飛び出すことによってより実感できる。一番好きなページは、Trexが飛び出してくるページ。紙が擦れる音もクオリティも相まって鳴き声に聞こえるから不思議!!